

# 中学校教科書 歴史の真実をゆがめる教科書、採択されず！

教科書選定委員会の推薦に沿って、歴史・公民ともに「東京書籍」が採択されました

## 公開のもと行われた、教科書採択の教育委員会審議

今回は初めて、「公開」された臨時教育委員会の中で、教科書採択についての審議が行われました。7月29日から8月5日までの4回の会議で、教科ごとの審議が行われた後、8月11日の委員会で、教科ごとに、無記名投票によって、採択されました。

教育委員会での審議に先立ち、5月から6月中旬にかけて非公開で「教科書研究会」が開かれ、教科ごとの研究員による調査研究活動が行われました。6月19日から7月2日まで市内9カ所で、「教科書展示会」が行われ、意見が募集されました。5月に立ち上げられた「教科書選定委員会」は、7月までの間、非公開で開かれ、教育委員会に推薦する教科書についての審議が行われました。

採択の結果は、以下のとおりですが、いずれの教科でも、現場の声が反映された「教科書選定委員会」の推薦に沿った教科書が採択されました。

全国的には、住民の「侵略戦争美化の教科書は採択しないで」という強い要望が寄せられる中、横浜市・大阪市が歴史・公民ともに「育鵬社」版の教科書を採択しました。

憲法を守る立場に立つならば、こんな教科書の採択は許されません。

## 【採択結果の公表】

今後、採択の結果・選定委員名簿・研究員名簿・臨時教育委員会の議事録・資料ともに、熊本市のHP上で公開されます。

## 【今回採択された教科書】

社会「歴史」 東京書籍

「公民」 東京書籍

「地理」 教育出版

「地図」 帝国書院

国語「国語」 東京書籍

「書写」 光村図書出版

数学 啓林館

理科 大日本図書

英語 東京書籍

音楽「一般」 教育芸術社  
「器楽・合奏」 教育芸術社

美術 開隆堂出版

保健体育 東京書籍

技術・家庭「技術」 東京書籍

「家庭」 東京書籍



(控室から)  
戦争を抑止するのは軍力か、9条か？  
なつみやま

国会で審議されている安保関連法案。安倍首相は、平和を守るために日米軍事同盟を強化し抑止力を強めることを理由に法案成立に躍起になっています。

「軍力・日米軍事同盟の強化」＝「抑止力」との考え方は、相互に相手を抑えつづける軍力が前提となるため、軍拡競争の可能性を否定できません。軍事衝突がひとたび起これば、多大な犠牲が生じる戦争につながる可能性も否定できません。犠牲になるのは、権力を握っている当事者ではなく、参政権のない多くの子どもたちであることは、近年のイラク戦争やアフガンへの軍事介入が示しています。

「紛争を戦争にしない」「軍事ではなく外交努力の徹底」―こうした動きは国際社会の中に大きく広がっています。東南アジアASEANによるTACは、独立・主権の尊重、内政不干渉、紛争の平和解決、武力行使の放棄などの基本原則を掲げ、ASEANとASEAN域外諸国との安全保障関係の基礎をなす国際条約として広がりました。すでにTACは、ユーラシア大陸のほぼ全域と南北アメリカ大陸にまで及び57カ国に広がり、世界人口の72%が参加する巨大な流れに成長しています。

いま私たちは、こうした国際的な流れに逆行する戦争法案の道を選ぶのか、憲法9条を遵守し、平和外交の道を選ぶのかの岐路にたっています。軍力で真の平和を構築することはできません。隣国との間に解決をしなければならぬ問題は多々ありますが、国際社会が追求している平和外交の道こそ日本の進むべき進路だと確信しています。

**日本共産党 市議会だより**  
 発行：日本共産党熊本市議団  
 上野みえこ なすまどか 山部洋史  
 熊本市中央区手取本町1-1 議会棟

NO. 960  
 2015年8月23日号  
 電話 328-2656  
 FAX 359-5047  
 メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
 ホーム：http://www.jcp-kumamoto.com/



# 市政懇談会 市民に寄りそった市政の実現を

8月17日、9月議会にむけて、市民のみなさんのご意見、ご要望をお伺いしたいと、「市政懇談会」を開催しました。当日は各種団体をはじめ、個人の方までたくさんの参加があり、様々なご要望、ご質問をいただきました。



## 寄せられたご意見

- まちづくり学習会に参加するなか、花畑町別館の歴史的価値を痛感した。保存のための署名活動を始めた。ぜひ残してほしい。
- 近隣自治体より遅れている、子ども医療費助成。よその自治体に引っ越したいと思われるような熊本市政ではダメ。
- 再開発にあんなに税金を使って、市の財政は本当に大丈夫なのか。
- 孫といっしょに暮らすようになって、子どもは未来だと思ふようになった。住んでいる場所で、その子どもの未来に格差があるのは、おかしいと思う。
- 市民病院の耐震建て替えが凍結された問題。命を守る施設、速やかに建て替えを。

- 西部クリーンセンターのゴミ捨て問題など、相変わらず不祥事が多い。職員の不祥事についても第三者機関の検証による処分が必要ではないか。
- 福祉タクシー券、一回の乗車で一枚(450円分)しか使えない。とても利用しにくい。使用選択の幅をもっと広げてほしい。
- 毎年、市民会館で歌声の催しをやっている。例年、会場使用料の補助が市から出ていたが、今年はなくなった。再開発のしわよせだろうか。
- 小学校給食が大規模校から民間委託されている。食の安全、職員の大量リストラが心配。

寄せられた様々なご意見は、9月議会に活かし、要求実現にむけて頑張ります。ありがとうございました。

## 国土交通省へ要請

日本共産党 市議会だより 2015年8月23日号

# 立野ダムを中止し河川改修等による治水対策を！

8月17日、国土交通省に対して、立野ダム建設を中止し、河川改修や遊水地整備などによる治水対策を行うよう要請を行いました。要請には、山本のぶひろ県議、熊本市議団、白川流域の地方議員、いもうよ

しや党県女性部長が参加しました。



## 立野ダムが引き起こす4つのリスク

自然豊かな阿蘇・立野峡谷に高さ90メートル、幅200メートルの立野ダム建設が国によって進められようとしています。

要請では、立野ダムが引き起こすリスクとして、「①阿蘇の自然を破壊し、世界ジオパークの認定取り消しの可能性も否定できない」「②ダム下部の穴がつまり、治水機能が発揮されないばかりか、つまった後は水が下流に流れ

ず、白川の河川機能が失われ、農漁業や地下水に悪影響を与える」「③洪水時には立野層を巻き込んだ浸透破壊を引き起こす危険性がある」「④県負担275億円(推定)は、県財政に深刻な影響を与え、暮らしや福祉政策の切り下げにつながる」などを指摘し、直ちにダム建設を中止するよう求めました。

## 河川改修・遊水地整備によりダムと同等の治水効果

要請では、現行の河川改修工事(河川の拡幅、河床の掘削、堤防のかさ上げ等)や白川中流域に遊水池の整備を行えば、国が想定している

洪水時にも対応できることを具体的なデータを示しながら、ダム以外の治水対策の取り組みを求めました。